

履歴書

基本情報

氏名 韓 賢宇 (はん ひよぬ)
生年月日 1990 年 4 月 5 日生 (満 32 歳)
性別 男
電話番号 080-7563-4990
メールアドレス westegg710@gmail.com
住所 〒177-0054 東京都練馬区立野町 30-6 母力吉祥寺北 202
在留資格 配偶者ビザ (就労制限なし)



学歴・職歴

学歴

2007 年 3 月 韓国 仁川光星高等学校入学
2009 年 2 月 韓国 仁川光星高等学校卒業
2010 年 3 月 韓国 建國大学校経済学科入学 (中途退学)

職歴

2011 年 1 月 韓国 株式会社 DCP 正社員 入社
2013 年 3 月 韓国 株式会社 DCP 退社
2016 年 12 月 韓国 株式会社 Hyangwoo 正社員 入社
2018 年 10 月 韓国 株式会社 Hyangwoo 退社
2019 年 11 月 日本 Drop Inn Osaka パートタイム 入社
2020 年 4 月 日本 Drop Inn Osaka 退社
2020 年 5 月 日本 自家製うどん中西 パートタイム 入社
2020 年 12 月 日本 自家製うどん中西 パートタイム 退社

資格

2018 年 3 月 TOEIC 850
2021 年 2 月 JLPT N1
2020 年 6 月 日本普通運転免許

自己紹介

私は韓国生まれ韓国育ちの韓国人ですが、2019 年以降配偶者(妻)の転勤に伴い日本の大阪に引っ越してきました。日本に来た当初は日本語がほぼできなかったため最初の 2 年は日本語の勉強とパートタイム(ゲストハウス運営や飲食店)中心の生活を送りました。2020 年頭に日本語能力試験(JLPT)2 級、2021 年頭には最上級の 1 級を取得し終わりました。

1 年前からは、ソフトウェアエンジニアを目指してプログラミングの勉強をやってきています。新しい知識や技術を学び、コードを書き、楽しみながら毎日頑張っています。これからずっとこの楽しさと共に働きたいと思います。

趣味はバスケットを中学の部活から始め 15 年ほどやっています。大阪では韓国人バスケットチームを立て、キャプテンとして 1 年間チームを運営したこともあります。最近はランニングにはまっていて週 20km ほど走っています。

現在の日本での在留資格は「就労可能な配偶者ビザ」となり企業側でのビザ取得などは不要で日本国籍者同様に雇用可能なものです。

長所と短所

長所

私の長所は物事や問題についていつも十分な調査を行い、できる限り正確に把握し、最も効率的な方法を見つけようとする態度だと思います。例えば、私は何かしらのツールやアプリケーションを使用する前にそのツールの詳細なスペックと、どうすれば効率的に使えるか、他の似ているツールと比べてどんなメリットとデメリットがあるか、実際のユーザーレビューはどうかを詳しく調べます。このような姿勢は習慣になっています。私はこの習慣は毎日新しいことが続々出てくる IT 業界で活かせると思います。技術文書を読んだり書いたりする時はもちろん、チーム内で意見交換をする時も活かされると考えています。

短所

私は新しいタスクの処理や決定などは比較的慎重に行う性格です。その慎重さが好作用することもあります。迅速さが要求される場合には、速くできなかったり、集中力が落ちる場合があります。そのため、最近は全てのタスクを随時リストアップし、優先順位をしっかりと見極めて取り組み、効率的にタスクを処理する練習をしています。

エンジニアへの転職事由

日本に移住して最初は日本語の勉強に集中しましたが、その後は何をすればいいのか、自分が本当にやりたいことはなんなのか、これから一生楽しんでながらできる仕事はなんなのか、そういうことを探してきました。

そのときにソフトウェア業界の開発者たちの話を聞ける機会があり、仕事に対する彼らの愛情、考え方、知識、成し遂げたこと、やりがいなどに強く感銘を受けました。

その時一番感銘を受けたのは Luis von Ahn の TedTalks でした。Luis von Ahn は CAPTCHA を考案した人で、無料で色んな言語を学べるウェブサービスである Duolingo の設立者でもあります。CAPTCHA、または reCAPTCHA はウェブサイトのセキュリティのため必要ですが、OCR で処理できない古書の内容の処理、自動運転技術のイメージ認識などにも使われています。Duolingo は言語学習サービスを無料で提供して全世界の人に機会を提供しています。それと共に学習者たちが学習過程で作った翻訳結果を必要な企業に提供して収益を得ます。reCAPTCHA と Duolingo はいかに収益性を逃さず、世の中に良い影響を与えるサービスを作ることができるかについての解答でした。

私もソフトウェアエンジニアとして成長し、ソフトウェアと最新技術を深く理解し、目新しく面白いものを作りたいと思います。それでいつかは自分の技術とアイデアを通じて世の中に良い影響を与える人になりたいと思います。

勉強することも楽しいですが、これからはそれに加えて実務で知識を自分のものにし、他の方とも一緒に働くことで、困難を克服していくやりがいと楽しみを経験していきたいです。